

<報道発表資料>

令和 8 年 1 月 28 日
京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

京都市芸術文化特別奨励制度 令和 8 年度奨励者決定

京都市では、芸術文化の担い手を育成することにより、新たな芸術文化の創造を促進し、京都の芸術文化の振興を図ることを目的として、これから大きく羽ばたこうとする若い芸術家（※）の方々を奨励する「京都市芸術文化特別奨励制度」を平成 12 年度から実施しています。

この度、令和 8 年度中の活動を支援する奨励者が決定しました。

※京都市在住または活動拠点が京都市の方

1 令和 8 年度京都市芸術文化特別奨励者

野村 由香氏【現代美術／31 歳／京都市在住】

京都市から奨励金（300 万円）を交付します。

【奨励者プロフィール】

平成 6 年 1 月 28 日生まれ（31 歳）。京都市（中京区）在住。岐阜県出身。令和元年、京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了後、国内外の様々な芸術イベントに参加し、作品を発表。常に流動し、変化し続ける自然や、変化を促す力に関心を持ち、それらを捉え視覚化するように大型の立体やインスタレーション作品を制作している。



2 令和 8 年度奨励者に係る申請件数及び審査講評

（1）申請件数 40 件

（ア）分野別

分野	件数（昨年）
舞台	14 (15)
音楽	13 (13)
造形	23 (23)

※ 分野が重複している申請があるため合計数は申請件数と一致しない。

（イ）年代別

分野	件数（昨年）
10 代	1 (1)
20 代	10 (12)
30 代	19 (20)
40 代	6 (4)
50 代以上	4 (6)
計	40 (40)

※ 最年少 13 歳、最高齢 60 歳

（2）京都市芸術文化特別奨励制度審査委員会 講評

今年度の応募件数は 40 件であり、専門委員会の選考を経て選出された 6 名を対象にプレゼンテーション審査を行った。

プレゼンテーション審査では、各候補者より今後の活動に対する意欲や、社会課題と向き合う活動などが発表され、芸術にかける情熱と創造性は、いずれも素晴らしいものであった。

一部、他の候補者を推薦する意見があったものの、野村由香氏の壮大な活動計画とテーマの明確さは、多数の審査員に強い期待を抱かせ、この奨励制度が氏の活動を大きく後押しするものであると支持された。厳正な審査の結果、野村氏を令和8年度の奨励者に決定した。

野村由香氏の作品は、テーマが明確で、土や水といった自然物を素材として用いながら、忘れ去られがちな歴史や、日常の中で見過ごされがちな人の営み、社会の基層を形づくる要素に目を向けています。それらを身体的な行為と空間構成によって可視化する手法には一貫性があり、スケール感のあるダイナミックな表現として高く評価できる。

今後、海外での調査研究を通じて、異なる土地の自然環境や資源、歴史と向き合うことは、氏の関心を国際的な文脈へと展開し、表現の射程をさらに広げる重要な機会となるだろう。1年をかけて世界の水を巡る構想など、その壮大な計画を後押しするものとして、本奨励金は極めて意義深い。

審査委員長 建畠哲

3 京都市芸術文化特別奨励制度審査委員会委員（敬称略）

◎委員長 五十音順

氏名	役職等
小崎 哲哉	文筆家、アートプロデューサー
亀岡 典子	産経新聞大阪本社編集局文化部 特別客員記者
栗山 圭子	京都新聞洛西総局長（前：京都新聞総合研究所所長）
小山田 徹	京都市立芸術大学 学長
竹内 有一	京都市立芸術大学 教授
◎建畠 哲	京都芸術センター 館長
平賀 徹也	京都市文化芸術政策監
福本 潮子	藍美術家
松下 悅子	同志社女子大学学芸学部音楽学科 教授
森山 直人	多摩美術大学美術学部演劇舞踊デザイン学科 教授

4 京都市芸術文化特別奨励制度専門委員会委員（敬称略）

五十音順

氏名	役職等
安藤 善隆	瓜生山学園京都芸術大学芸術学部教授 同舞台芸術センター所長
上田 希	クラリネット奏者 京都市立芸術大学・大阪音楽大学・非常勤講師

岡村 詩野	音楽評論家 京都精華大学メディア表現学部非常勤講師
齋藤 桂	京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター准教授
坂本 公成	ダンスカンパニー Monochrome Circus 主宰、振付家
関 雄輔	毎日新聞学芸部
徳山 拓一	森美術館シニア・キュレーター
平芳 幸浩	京都工芸繊維大学 教授
牧口 千夏	京都国立近代美術館 主任研究員
増田 真結	京都教育大学音楽科准教授

5 参考

京都市芸術文化特別奨励者一覧

奨励年度	奨励者	分野
H13 年度	奥村 泰彦	舞台美術
	河原崎 貴光	メディアアート
	坂本 公成	現代舞踊
	文楽若手義太夫節の会	淨瑠璃
	松岡 万希	声楽
H14 年度	井上 隆平	クラシック・ヴァイオリン
	ソバット・シアター	映像・美術造形
	高橋 匠太	現代美術・インсталレーション
H15 年度	内田 淳子	演劇
	上森 祥平	クラシック・チェロ
	Mitch	ジャズ・トランペット
H16 年度	砂連尾 理 + 寺田 みさこ	現代舞踊
H17 年度	名和 晃平	現代美術
	吉本 有輝子	舞台照明デザイン
H18 年度	高谷 公子	声楽
	宮永 愛子	現代美術
H19 年度	英 裕	洋画
H20 年度	三浦 基	舞台演出
	横山 佳世子	邦楽
H21 年度	筒井 加寿子	演劇
	内藤 裕子	ピアノ
H22 年度	あごう さとし	劇作・舞台演出

	曾根 知	コンテンポラリーダンス・バレエ
H23 年度	加藤 文枝	クラシック・チェロ
	宮永 亮	映像表現
H24 年度	中嶋 俊晴	声楽・カウンターテナー
	Hyon Gyon	絵画
H25 年度	小林 達夫	映画
	JCMR KYOTO	現代音楽の研究・企画
H26 年度	中川 日出鷹	現代音楽・ファゴット
	森田 玲・林 宗一郎	民俗芸能・能楽
H27 年度	徳山 拓一	現代美術を中心としたキュレーション
	久門 剛史	現代美術
H28 年度	谷中 佑輔	現代美術・彫刻
H28 年度	林 美音子	地歌演奏・柳川三味線
H29 年度	木ノ下 裕一	演劇・古典芸能の研究
	高尾 長良	小説
H30 年度	久保 ガエタン	現代美術
	Hyslom	現代美術・パフォーマンスアート
R 元年度	空間現代	現代音楽
	村松 稔之	声楽・カウンターテナー
R2 年度	西條 茜	陶芸・現代美術
	tuQmo	コンテンポラリー・サーカス
R4 年度	ゴーダ企画	舞踊・パフォーミングアート
R5 年度	黒川 岳	現代美術
R6 年度	中川 裕貴	チェロ
R7 年度	竹本 碩太夫	文楽
R8 年度	野村 由香	現代美術

<お問合せ先>

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

電話：075-222-3119